

奸民暴舉之義我ニ付上申

本知下北會津南會津河沼大沼郡麻東蒲原
六郡聯合會決議道路開鑿之義ハ若松士族及
市街其他沿道ニ係ル者ハ先來希望スルト雖モ
沿道外及郡麻郡内人民之内不服ヲ唱フル者
之有々候也右郡内ハ自由黨負ニ數多有々候
ヨリ追々教唆誘導セシヨリ不服ヲ唱ヘ服
役代夫ヲ拒ミ或ハ訴訟等ヲ企内実不穩立至
ルモ畢竟自由黨宇田成一等ヲ巨魁トシ專
ラ行政部ノ行為ヲ是非ニ據リニ壓制苛酷
名ヲ付シ無智ノ人民ヲ煽動シ此等ノ投シ人民
離隔ノ策ヲ施シ大ニ談党ノ主義ヲ逞クセシト

スルノ計畫ニシテ甚悪ム（ギ）ノ舉動モ方之
レトモ未夕謗論ノ判明セサルヲ以テ縣官郡吏等
ヲ派出シ以テ管説諭ニ盡力為致候得共彼等
舉動多切迫ニ至リ隠々兇器等ヲ貯候或
ノ風聞モ方々ニ傳フ一ノ不慮ニ備メルモ召
募巡査ヲ設ケ取締ハ勿論傍ヲ探偵ヲモ
書サセ候中宇田成一三浦文治詐偽証告等
之ヲ件發覺セシテ以テ先固廿六日喜多方
若松ニ於テ國人外九名ヲ捕縛拘引セシメ
何トナリ人心不穩固廿八日喜多方彈正原ヲ於
テ人民多人殺傷集ム多シ趣々自巡査出張説
諭ノ上一旦ハ解散セシメ其夕八時比俄々喜多方
警察署ニ迫リ宇田等ヲ拘引スル理由ヲ問

ヒ併セテ放免ラセテ不止百方説諭時間ヲ移ス
中彼等之内何者乎暴キノ約束セシヤト唱ヒテ
手ヲ拍ツト衆人ニシテ和シテモ拍ツヤ否ヤ聲ヲ
發シ聲更ラ殺セシト云テ署内ニ陥入石ヲ擲
ケテ打テ乱暴至ラサルナキモ猶一層説諭尽方
スルト密氏並ハ仇好お募リ多勢カ無勢カ多
被カシ名ハ無シハ羅名ヲ捕縛セシ其勢ニ違
シ同散ハ逃走セリ然レトモ巨魁之ハキキヲ傳
ニ就カサル以テ其夜追跡新倉村赤城平六宅
ニ於テ高知お土族美尾角藏外四拾余名捕
縛拘引セリ然ルニ狹宅ヲ搜查スルニカ鎗銃
砲等數ヲ隠藏シタルニ付老母ヲ引上嚴重
取調候處先徒聚集之ヲ罪ハ勿論モ形

跡タル似生直七口供之通目的トスル所者元来
革命主以我ニシテ國事ヲ犯ス責ヲ負免且効覺
負ノ揚ヘシヨ徒等ヲ罰スルニ電報號ヲ辱ム
至尊ノ隱名ヲ用ニ其他大臣亦皆以下等ノ様
之時號ヲ所持セル以上決テ一部ノ各道路事
ハ等ニ止ラスモ形跡疑フハカラサル國事犯ト見認
候ニ付別紙ニ其類お副先以て以て及申候
也

明治二十二年二月九日 福島縣令三寫通庸

内務卿山田顯義殿

第一書

一出張警部武井甚之進折田西村
景況系捕縛人名書之件

第二書

一喜多方新合村本部ヨリ引揚映特別
内規則之件

第三書

一被告人似生直七調書之件

第四書

一完徒服衣集取調タル國事犯ト見認
決處之件

第五書

一諸方世復書類之字

第廿六号

一海老名下等所復命書字

第廿七号

一國事探偵掛龍造寺曲豆太郎聞得書

第一号

番外

当地ノ景況追々海老名一尋屬折田警部ヨリ市相成居
美客ニ美處一兩日前ヨリ漸々人乳荒立矣ニ付是ノ年配罷
在美客共本日午前十時頃ヨリ各村人民追々當喜多方所
ニ集合シ見人数殆ト四五人余ト思料ス俟テ説諭ノ上一旦解
散セシメタリ然ルニ午後六時頃ニ至リ又々人民集合シ四八時
頃ニ至リ是人員九名ヲタラスト而シテ取摩郡米岡村三岡彦四郎
外三名ヲ警署署見張所ニ来リ牢因成一尋ノ所捕押如何
ノ次ヲニテ如何ナル所處分相成タルヲ云々ト申ニ付夫々説諭ヲ加
ニ解散セシメント是ノ日致美客共更ニ具諭ヲ聞入ト今ハ時ヲ分
ニ至ル時ハ秀ヲ擲ケ或ハ楓橋ヲ擲ヘ見張所ニ聞入リ或ハ石橋
其勢止ムヲ得サルニ付目下警署ニ事ヲ執行シ直ニ先徒取摩郡
熊倉村高橋善久加代村長菅川祐市米岡村大野実鳥見山村

庄司兵吉云云名ヲ逮捕セリ他ノ人数遂ニ逃走リ而專ニ警戒
ニ尽シ力中ニ有三名尤モ再々ノ模倣者ニ更ニ無シ云云石ノ不取
敢上中ニ及ニ云也

明治十五年三月二十八日午後三時

喜多方警察署長

警部武井是之進

福島縣令三島通庸敬代理

少書記官村上楢朝殿

進テ人民前田村平民ハ秋産七ノ負傷アリ外ニ負傷者
有之事ト被考者其何方今ハ判然不強ニ取
誦ノ上進テ上中ニ可及云也

捕獲人名

宇田 成一
羽島 綿吉
上田 清九
真部 喜貞
上田 勇和
穴澤 勘五郎
渡部 友八
佐治 幸平
原 平藏
三浦 文治

当地景況左ニ上申

一廿八日午前六時卯麻即道路開鑿不服者廿七ヶ村ノ者共高戸ノ人
以喜多方警察署前へ集合スルトノ報アリ然ル處同日午前八時
過ヨリ字小田付町へサレテ相見正午頃凡三四千人若松へ行ク云
ツテ塩川街道輝正原ニ至リ立止レリ其ヨリ午後七時頃再ヒ喜多
方警察署前ニ集合シ石ヲ擲ケ或ハ当番所板戸ヲ打テ乱暴相
働キ止ムヲ得ス署ヨリ巡查三名抜刀シ出シハ悉皆暴民逃走其
際暴民負傷セシ者三四人有之候趣ナレト人名ハ悉ク不相分候得共
四名ハ小林集ハ喜多方町ニ倒シ居候ニ付警察署へ拘面セリ
一同夜午前四時喜多方町出立六時頃新合村へ着致シ直ニ賊徒共
城平六宅へ巡查四拾五名ヲ配置該宅へ集合ノ者高知縣人荒尾角
造川口清忠岡本正栄小川又雄井上平吉群馬縣人伊賀我何人大

廿七ヶ村一戸ノ
凡三四千人

本權平高橋江雨招江助一山口重脩本縣人松崎儀八山田信海加藤
宗七荒海純安安積戰佐藤清杉山某ノ拾七人外本縣三春人耶
麻即人取交セ廿八人ヲ傳レ若松警察署ヘ送致セリ外当地方人
氏八拾二人ハ受書ヲ為差出解放セリ現場ニ居合候者都合
百廿七人ナリ

同日午後喜多方町ヲ襲フノ聞アルヲ以テ夫々準備セシカ未ラス
一不穩ノ景況有之村々ハ夫々巡查ヲ以テ巡查セシメ又服部檢
事ヨリノ命ニヨリ証據物件搜索中ナリ
一未夕踪跡判然セサル者河野廣岱澤田清之助赤城平六ナリ
右ハ廿八九兩日ノ景況概畧不取敢及上申候也

喜多方町出張

十五年三月三十日

警部折田正介

福島縣書記官村上椿朝殿

群馬縣上野國東群馬郡

前橋田中村第百廿八番地士族

小勝 俊吉

本縣安達郡西勝田村

仁科寅之助

同標葉郡高瀬村士族

愛沢 寧堅

福島縣一丁目南裏四番地寄苗

河野廣中

右之者共昨一日午後土時過捕縛

明治十五年三月二日

特別内規則

第一條 吾カ同盟者ノ所謂權利ヲ恢復シ幸福ヲ全
フスルトスルノ所以ノ者ハ單ニ道路開鑿ノ一点ニ止
マラス即チ進シテ政事ノ改良ヲ望ムモノナレハ尋常
ノ行為ヲ以テ此目的ヲ達スル能ハヌルモノナレハ百折不
撓ノ精神ヲ以テ茲ニ誓フハ敢テ論ヲ要セサルナ
リ故ニ特別ニ委員若干名ヲ置キ非常ノ推事ニ
當ラシム

第二條 第一條ノ委員ヲ撰舉スルハ公撰ヲ用ヒハ同盟中ノ
志願者ヲ以テ之ニ充ツ

第三條 前條ノ委員ハ特ニ誓約ヲカサシム

第四條 特別委員中ヨリ委員長一名ヲ拔押シ總理セシ
ム

道路ノ一點ニ止
マラス即チ進シ
テ政事ノ改良ヲ
望ムモノナレハ
尋常ノ行為ヲ以
テ此目的ヲ達ス
ル能ハヌルモノ
ナレハ百折不撓
ノ精神ヲ以テ茲
ニ誓フハ敢テ論
ヲ要セサルナリ
故ニ特別ニ委員
若干名ヲ置キ非
常ノ推事ニ當ラ
シム

特別内規則

第一條 吾カ同盟者ノ所謂權利ヲ恢复ノ
フスルト云フ所以ノ者ハ單ニ道義
ヲ以テ進シテ政事ノ改良ヲ望
ム行為ヲ以テ此目的ヲ達スル能ハヌ
ノ精神ヲ以テ茲ニ誓フハ敢テ論ヲ要セサルナ
リ故ニ特別ニ委員若干名ヲ置キ非常ノ推事ニ
當ラシム

第二條 第一條ノ委員ヲ撰舉スルハ公撰ヲ用ヒス同盟中ノ
志願者ヲ以テ之ニ充ツ

第三條 前條ノ委員ハ特ニ誓約ヲカサシム

第四條 特別委員中ヨリ委員長一名ヲ拔押シ總理セシ
ム

第五條 特別委員ハ左ノ區域ヨリ撰出ス

那麻郡 河沼郡 大沼郡 北會津郡

南會津郡 東蒲原郡

誓約書

一 議權ノ褫奪ヲ回復スル件左ノ如シ

一 項 決議ニ及シタル施行ノ事

二 項 路線ヲ確定スル事

一 議權回復ノ上ハ左ノ目的ヲ以テ會津地方道路開鑿ノ事業ヲ起スヲ要ス

一 項 民事ヲ計リ起業スル事

二 項 地方民ノ公益ヲ計リ路線ヲ査定スル事

三 項 工事監督委員撰置ノ事

四 項 路線接続ノ隣縣人民ニ於テ同業起業ノ

締約ヲ要スル事

五 項 前各項ノ目的ヲ達セザル片ハ此事業ヲ起シ

ス

上仙委員暗号

一 訴訟 經 一 法庭 仙台平 一 受理 取引相談

一 委員 麻 一 縣廳 旅商人 一 証據物件 受取証

一金 手形

地方ノ暗号

一 同盟 勢力米一及對党ノ景況 一金 融

一 地方 一 裁判 塗物

縣令(折込シ) 属官(下ケ系) 郡長(フル系)

郡書記(口系) 戸長(木綿) 警部(キロツ)

巡查(ラカラマユ) 新募集(エリマユ) 判事(マハタ)

省

檢事(マエ) 帝政黨(ヒ・ス) 同盟者(玄米)
別働隊(白米)

六郎總理本部ヨリ發令左ノ如シ

一 一村ニ差回役ヲ置キ其村ニ什長ヲ置キ總テ同衆ノ差回ヲナスモノトス

一 不慮ノ合回ノ為メ一村ニ太鼓或ハ番木ヲ設ケ置キ事アラハ此レヲ打鳴シ同衆ヲ招キ集ムヘキモノナリ

但差回役ハ總理ノ命令ニ隨ヒ什長ハ差回役ノ命令ニ從フモノトス

一 急速武器ヲ調達シ總理本部ヘ運送先各自用意ノ事

但運送ノ折旅色ニシテ外見ヲ憚ル

一 番木或ハ太鼓五ツ打鳴スルハ兵糧ノ用意ヲナスベシ
於五以上ノ壯男結束シテ合回ノ場所ヘ馳參ル
一 番木或ハ太鼓ノ合回ハ調ニ打鳴ラス時ハ握飯ヲ運送

後理本部
兵糧同衆

即總理本部ヨリ發令左ノ如シ
 差図役ヲ置キ其村ニ什長ヲ置キ總テ同白
 ヲナスモノトス
 合図ノ為メ一村ニ太鼓或ハ番木ヲ設ケ置キ
 ハ此レヲ打鳴シ同衆ヲ招キ集ムヘキモノナリ
 図役ハ總理ノ命令ニ隨ヒ什長ハ差図役ノ
 ニ從フモノトス
 品ヲ調達シ總理本部へ運送先各自用意
 送ノ折菰包ニシテ外見ヲ悖ル
 太鼓五ツ打鳴スルハ兵糧ノ用意ヲカスベシ
 ノ壯力結束シテ合図ノ場所へ馳参ル
 太鼓ノ合図亂調ニ打鳴ラス時ハ握飯ヲ運送

總理本部ノ村ニ差圖役ナリ
 武器調定并各自用意
 兵糧用意の約ナリ
 差圖役ナリ
 番木太鼓合図

送スル事

但握飯ノ中ニ梅干或ハ味噌ヲ入ル
右約束ニ背クモノハ首ヲ斬リ同衆ニ殉グモノトス

十五年十二月二十六日

安積戦

本部ヨリ發令

一自今迄理本部ヨリ同盟ニ報告スル時或ハ派出負シ出
ス片ハ左ノ印証ヲ用ユヘシ
一同盟者中逮捕若クハ拘致ノモノ立向ヒタル片ハ不在
ヲ謝絶スヘシ

銅印

二貫割印

右

安積戦

明廿九日新合村本部ニ於テ六郎有志會アリ
右ニテ

一若松ニ本部ヲ設ケル

一各村人民ハ共謀シ若シ叶ハサル時ハ現今出張ノ夏ニラ
暴動ヲ企ル

右

安積戦

目今彼ノ地ノ景況ヲ聞クニ議論種々ニ別レ
縣令郡長其他斬殺ノ論及ヒ頑民ヲ煽動シテ
廳下ニ迫ル論及ヒ自若トシテ官吏派出ノ上
公賣處分ノ時官吏ヲ縛シテ警官ニ送ル等ノ
議論紛々シテ決セス然レ不日席旗竹鎗ハ何レ
モ同論としテ必ス起ルヘレ云々議論一決セサルニ
付昼夜急行ニテ河野ニ達シ何カノ指揮ヲ受ケ決
スル積リ是れ河野ノ該地出張ヲ乞フ積リナリ云々
一河野ハ昨日未外出ノ徒行衛不公然シ本日中ニ必ス
歸ルナルヘシ多分当地ニ潜伏シテ居ルナラシ
一安積ハ明朝未明彼ノ地ヘ行リ積リ然レ河野ニ
逢フタル上ナラシ歸ルリス

一高知人荒尾角藏川口清忠小川又雄岡本正榮ハ
今般耶麻郡ノ峯ニ付本部ヨリ派出シテ無名
館ニアリシカ一昨十九日朝当地河野廣休ト同
行耶麻郡ニ行キ目今頻リニ評議中ノ由ナリ
一會津方訴訟委員ハ植田勇知和島某ハ生基
ナリ仙臺方ハ山口千代作ナル由
一田村郡上移村ヨリ彼ノ地ハ派出ノ自由党ハ紺野若
五郎安田敬太郎松崎議ハノ三人ナリ事起ラ直
ニ田村郡同村地方ヨリ人数ヲ擡出ス積ナリ
一特別委員五十名ヲ組立テ此内六里ニ分ケ頻リニ
人民ヲ煽動スル由ナリ此頭分ハ門奈某頭取ハ植
田勇知ナルヨシ特別委員ノ規則及ヒ盟約ハ不日
岩下ノ手ニ送ル積ナリ

一当分不平党ノ本部ハ耶麻郡新石村ノ赤城古平^六
宅ニアリ

一耶麻郡関方村六角久兵衛宅ヲ以テ出張党員ノ
止宿トセリ

一耶麻郡地方人民ハ大ニ奮發セリ然レ諸方ヨリ派
出ノ党員ニ向フテ曰ク今君等カ居ル間ハ氣強シ
一端事アリ大事ニ至リシ時君等カ逃ケ去ル時ハ
甚々失望ナリ如何云々党員等曰ク決シテ然ラス
必ス死ヲ以テ尽ス云々

一暗号電信アリ其畧ニ曰ク

縣令ハ

ヲリカヘシ

属官ハ

サゲイト

警部ハ

フシイト

判事ハ

マイ

自由党員ハ

白米

同盟者ハ

玄米

此他尽ク暗号アレハ記憶セス此モ不日岩下ノ手ニ入ル

一 岩下ト安積ト逢ハ廿四日耶麻郡塩川村ノ旅店

ニテ逢フ積リ此地ハ派出サレ云々

一 不日ヨリ若松ハ本部ヲ置キ専ラ及對党ヲ撲滅スル積ナリ

一 此度ノ舉ヲ以テ是非革命ヲ行フ事ヲ党員一決セル云々

一 河野ハ容易ニ書面ヲ送ラス唯々口上ヲ以テ命スルノミ且ツ書面ヲ送ルモ他人ノ筆跡及ヒ他名ヲ用フ

一 安積戦ヨリ河野ニ出張リ乞ヒシニ曰リ既ニ新右六ヶ村ノ公賣処分ニ関シ第一策ノ外レ以上ハ此席ニ於テ山口千代作モアリ同人ハ直ニ帰郡セント云ヒシニ之モ河野押ヘテ今一報次第起クヘシ云々

一 此ツ一策ノ行ハザリシ上ニ三指名計ナリ死ナネハイケシ三指名ノ死ヲ以テ当レハ必ラス帝政黨大舉シテ防禦スルナラシ然ラハ政府ニ抗セスレテ政黨ノ争ヒトナリ及對党撲滅ノ上策ナルヘシ云々

一 之レヲ以テシレハ若松ハ本部ヲ置クモ帝政黨ノ反動カヲ引起ス策ナラシ

一 今般喜多方ノ一件ハ論旨ニ達シ合シ根原ハ土木事件ヨリシテ一途ハ及對党ヲ攻撃スルノ目的ナリ

一 遠藤直起遠藤象嶽三浦進ハ孫宇田党ノ

反對者ナリタニヨシ

十一月二十二日

安積戦也

本年十一月廿七日安印来り密報左記ノ如シ

一六郡本部ハ新谷村赤木平六宅ナリ他ヨリ右援トナ
現今投宿セシ居ルモノ凡三十名年負各太刀所
持ノ一

一惣理ハ赤木平六ナリト虽モ彼ハ先日警言察署
拘引ノ違有之ニ付當時同人宅中坐敷へ潜伏致
シ居現今后任ハ佐藤清ナリ書記ヲ擔当スルモノハ
安積戦也

一本部ニハ金錢ナシ

一本月廿六日壯士輩ヨリ総理ニ建議シタリ其旨趣ハ
今日ニ至リ悠々不斷ニ時日ヲ経過スルハ甚々快カラス
依テ兼テノ共議ノ如ク右手分ヲナシ片端ヨリ斬殺

致度云々協理入レス

一 東京又々ハ群馬ヨリ不日応援トメ多人数来着スル
答ナリ尤モ当方ヨリ電報次第群馬ヨリ応援ト
メ来處スル答ナリ

一 安達郡小浜村自由党モ当方ニ於テ干戈ヲ弄スル
ヲ台図ニシテ同黨ニ蜂起シ郡街警察街等ヲ籠テ
答ナリ

一 我カ党ノ者逮捕サレシ節ニ死ヲ以テ逮捕官吏ニ抵
抗シ奪ヒ返ス答ナリ

被告人瓜生直七調書

明治十五年十一月三日本官ハ若松警察署ニ於テ兇
手連環事件ノ被告人瓜生直七ヲ訊問スルノ方ノ

問 汝ノ姓名年齢職業身分住所出生ノ地ハ如何
答 岩代国耶麻郡鳥見村平民瓜生直七ト稱シ二十
二年二月月職業業農ナリ

問 汝ハ會津地方六郡連合會ニ於テ議決シタル事
道開鑿事件ニ付不服ヲ唱ヒ出訴シタル同盟者
ナルヤ

答 同盟者ナリ

問 其同盟者ハ凡ソ何千人ナルヤ
答 凡ソ七千人位ト覺ヘタリ

致度云々係理入レス

一東京又々ハ群馬ヨリ不日応援トメ多人数未着スル
答ナリ尤モ当方ヨリ電報次第群馬ヨリ応援ト
メ未^乗處スル答ナリ

一安達郡小浜村自由党モ当方ニ於テ干戈ヲ弄スル
ヲ台閣ニシテ同黨ニ蜂起シ郡街警察等ヲ龍巻フ
答ナリ

一我カ党ノ者逮捕サレシ節ニ死ヲ以テ逮捕官吏ニ抵抗
シ奪ヒ返ス答ナリ

被告入生直七調書

明治十五年十二月三日本官ハ若松警察署ニ於テ兇
徒聚衆事件ノ被告入生直七ヲ訊問スル一左ノ
如シ

問汝ノ姓名年齢職業身分住所出生ノ地ハ如何

答岩代国耶麻郡鳥見村平民入生直七ト称シ二十
二年二月月職業業農ナリ

問汝ハ會津地方六郡連合會ニ於テ議決シタル事

道開鑿事件ニ付不服ヲ唱ヒ出訴シタル同盟者
ナルヤ

答同盟者ナ

問其同盟者

答凡ソ七千人

日圓七千人

問 同盟者ノ内重立タル者及ヒ其主謀者ハ誰ナルヤ
答 山口代作中島友八宇田成一小島忠八佐

問 治幸平金子恒五郎等アリ
出訴事件ニ付テハ自然其集會所ヲ設ケ置
キタルヘシ

答 耶麻郡新合村赤城平六宅ヲ以テ集會所ト定
メ本部ノ名称ヲ付シタリ

問 既ニ本部ノ名称ヲ付シタル以上ハ各受持又ハ已
畫ノ定メテモアルヤ

答 已畫アリ且ハ已ニ分ケテ下ニ部ヲ設ケタ
リ

問 役負等ノ如キモノハ如何
答 本部ニ総理アリ且ニハ部理兼小部理及ヒ什長

等ノ役目アリ

問 今回ノ事件ニ係リ集會ヲ要スルハ又ハ同盟者ヘ
通報其他指揮スヘキ事ハ渾テ本部ヨリ発ス
ルヤ

答 一切ノ事ハ渾テ本部ヨリ発スル一ニシテ其指揮命
令ニ從フノ約束ナリ

問 若村々ニ合圖ノ定メアリト聞リ果シテ然ルカ

答 不慮合圖ノ爲メ一村毎ニ太鼓又ハ番木等ヲ設ケ
置キ事アルハ日ニハ之ヲ打鳴ラシ同衆ヲ招キ集
ムル一ニ決シタリ

問 其打方ニ依テハ種々ノ手續アルヘシ

答 正別其村方ニ依リ人数ヲ操出ス一及ヒ握り飯ヲ
運送スルノ約ヲナシタリ

本部ノ下ハ已
ニ下ニ部ヲ設
キ以テ總理アリ其下ニ

有、内重立々者及に其主謀者、誰^ニヤ
代作中島友八字田成一、島忠八、佐
平金子恒五郎等アリ
事件ニ付テ、自然其集會所ヲ設^キ置
ルヘシ
郡、新倉村赤城平太宛^ニ以テ集會所ト定
部、名称ヲ付シタリ
本部、名称ヲ付シタリ以上、各受持又、五
定メテモアルヤ
画アリ五ハ五ニ分ケ又、下ニ部ヲ設ケ又
具著、如キモ、ハ如何
部ニ整理アリ五ハ五ニ部理先、部理及ニ付長

本部、下ハ五ニ分ケ
五ハ五ニ部ヲ設ケ又
本部、整理アリ五ハ五ニ部理先、部理及ニ付長

問 武若ヲ調達スルノ評議アリシヤ

答 至急武若ヲ調達シ本部へ運送スルノ及ヒ名自
用意ヲ為ス等ハ本部ニ於テ議決シ名村ニ通
報シタルノ既ニ業知シ居レリ

問 名村申合規則等ハナキヤ

答 名村々々ニ申合ノ規則アリ自村ニテモ設ケ置キタ
リ其規則書ハ大都村ノ貞次ノ手ニアリ

問 亦部ニ特別委員ヲ設ケ且ツ規則アリト聞ク然ル
哉

答 特別委員アリ人数ハ凡ソ廿人規則ハ五六ヶ條ア
リテ委員ハ志願者ヲ用ヒ而シテ委員長一名ヲ置
ク

問 委員長ハ誰ナルヤ

答 委員長ハ福島縣士族門本茂次郎副長ハ植田
勇知ナリ

問 特別内規則ヲ草稿シタル者ハ誰ナルヤ

答 草稿者ハ能ク知ラサレ凡厩記ハ中島友八其他本
部ニ詰居ル者ニ相違ナシ

問 別働隊ト称セルハアリシヤ

答 成ル程別働隊トカ却迫隊トカヲ設クヘシト門本茂
次郎カ發議シ頗ル之ヲ主張シ遂ニ特別委員ヲ
設クルニ決シ志願者ヲシテ二十名ト定メ此委員
長ハ前ニ申立ル如ク門本茂次郎ヲ撰挙シ六郡へ派
出スルモノトシタリ自今モ委員一人ナリ

問 特別委員ヲ設ケタルノ及ヒ名村合図ノ太鼓又ハ
番木等ヲ設ケシニ其他武若ヲ調達スヘキ一等ヲ

本部に於て議シタルハ、汝カ陳述スル處ニ據テ明白ナ
リ然ラハ出訴事件ノ委任ヲ受ケタルモノハ渾テ熟知
ノ一ニ之アルヘシ

答 山口代作中島友八宇田成一山島忠八其他若
村ノ部理什長及ヒ福島ヨリ派出員ハ渾テ素
知致シ居ル答ニ之アリ

問 総理ハ誰ナルヤ

答 総理ハ赤城平六副ハ三浦文治ナリシカ平六ハ故アッ
テ佐藤清ニ総理ヲ委任シタル趣且ツ委任狀ノ文面
ニハ一時代理トアルヲ見受ケタリ

問 汝ハ明治十五年十月廿八日夜喜多方警察署門前ハ多
人数ニ集シ暴動ヲナシタル始末ヲ申立ヨ

答 明治十五年十月廿六日自分赤城平六方則ケ本部ニ

参リ居リタル處ヘ北山村氏名不明ノ者兩名来リ云フ
様今日下柴村中泉寺ニ於テ北山村熱塩村大都
村島見山村平林村関柴村檀原村等ノ人民集会
シ我々ノ出訴委員タル宇田成一三浦文治等カ拘留セラ
居リテハ出訴上差支ルニ付拘留セラレタル理由ヲ喜多
方警察署ニ至リ聞ク一ニ決シタリ依テハ集会セラル村
々ハ本部ヨリ同月廿八日早朝ニ喜多方旧小荒井所ニ集
ル様通達方取計異ヘク旨本部ヘ申来ルヲ以テ一同評
議ノ末其挙ヲ賛成シ本部ヨリ各村ヘ通報スル一ニ決
シ翌廿七日本部ヘ各村ヨリ西三名ヲ集ル様通達方
取計ヘ総理赤城平六ト密ニ相談シ本部ヘ集マリタル
上ハ小荒井ヘ二十八日早朝ニ集マル一ニ取極メ自分ハ其
夜本部ニ泊リ翌廿七日帰宅致スル処明二十八日小荒

井所へ早朝集ルヘリ旨自村田中市郎平申シ来リタ
ルニ付翌廿八日早朝小荒井所ニ出テ夫レヨリ彈正原ヘ多
数人一統差越シ爰ニ於テ物留ノ理由ヲ警察署ニ
向テ聞リテニ申合セ午後五時頃談原一統引上警
多方警察署ヲ指シ一同罷越シ自分ハ田一ノ堰ヨリ
立別レ田小田村所葛屋ナル茶屋ニ於テ食事ヲナシ
居タレ處へ熊倉村姓名不明ノ見知ノ廿五六年ナル者
カ来リ自分ニアラサレハ事分カラサレ趣ニテ一同待テ居
タルカヲ速ニ来ル様申来リタルニ付何ニ故ナルヤト尋ルニ
怪我人アリ大騒動ナリト聞キ夫レハ決シテ逃クナト云ヒ聞
セ喜多方警察署門前迄至リ見ルニ最早誰モアラスシ
テ巡查カ徘徊シ居ルノミナシ夫レヨリ直ニ新谷村赤城
平六方則ケ本部ニ至リ右ノ理由ヲ通報シ自分ハ寐臥

ノ末翌廿九日未明雪隠ニ行キ出ントスル處ヲ逮
捕セラルタリ

問 此集シタル人数ハ何程ナルヤ

答 此集シタル人数ハ凡ソ三千余人ト思ハル

問 其人数ハ何ニ依テ算スルヤ

答 本部ニ人名簿アリ之レヲ調査スレハ判然スヘシ

問 宇田成一三浦文治等ノ拘留サレタル理由ヲ聞ク

答 警察署者ニ出ルテ一言モ言セシ者ハ誰ナルヤ

答 發言者ハ知ラサレ思フニ中泉寺ニ於テ集會節

相談セシナラン

問 中泉寺ニ於テ集會ノ節会頭タル者ハ誰ナルヤ

答 誰レカハ知ラス

問 二十八日彈正原ニ於テ頭タル者ハ誰ナルヤ

答 頭々者連ハ之レナリ集メタルハ各村ノ部理什長カハ
知ラサレ思フニ夫レ等ニ於テ集メタナレハ而シテ自
分ハ各村人民ニ向ヒ我々ハ道路事件不服アツテ出訴方
委任ヲシタル六名ノ者共ハ身体ヲ拘束セラル者ニ出訴
ニ差支且ツ出訴委任ノ一人タル宮城ニ行キ居ル山口
千代作ヨリ電報ニテ委員ノ内一名罷越ス様ノ報
アルモ其電報ニ志シ難ク將タ宇田成一三浦文治
ハ我々委任シタル事件ニテ拘留セラル儀ニテ一已ノ
資格ニテ拘留セラルタルモノナレバ我々ハ構ハサレ凡委任
ノ資格ニテ拘留セラルタルモノナレバ則我々カ罪アルモノ
ナレバ罪ヲ我々カ受ケ兩人ニハ敢テ罪ヲ期セシムルナレ
何レモ其理由ヲ警察署ニ出テ問フヘシ諸君ハ何ト
思ハルヤト演シタルナリ

問 其場ニ重立チタル者ハ誰ナルヤ

答 重立タル者連知ラサレ凡知リ居ルモノハ大都村富山

梯次同角次郎長沢新太郎稻村ノ松下六郎姓

不明ナル直市米岡村大竹勇吉豊芦村東條佐

代吉熱塩村横山茂馬等ニテ余ハ知ラサルナリ

問 警察署ヤ又ハ他ノ所ヲ襲フ約ニテモセサルヤ

答 決シテ其様ナクハ為サス唯拘留ノ理由ヲ聞キ而シ

テ其次第ヲ宮城仙谷ニアル山口千代作方へ申遣サ

ルヲ得カレハナリ

問 拘留ノ理由ヲ聞クニ多人数ニテ警察署へ行クカラ

ハ何ニカ他ニ目的ノアルナルヘシ

答 其理由ヲ聞為メナレ凡多人数ニテ行キタルカラハ故

アリソウト思ハル、モ仕方ナシ

問 多人數ノ威カヲ以テスルノ積ニ相違ナキヤ

答 然リ

問 小荒井警察署へ暴民侵入ノキハ本部ヨリ人数
操出タサセシヤ如何

答

操出セシモノ見ヘ三春人柳沼某高知縣荒尾某
井上某外五六名姓名不明ナル顔見知り居レリ
且ツ同人等ハ刀劔ト覺シキモノ各々帶ヒお田付町
通行スルヲ確ト見認ム之ヲ等ノ者共ハ其騷キニ付
本部ヨリ操出シタルモノナリ

問

又事アル日ニハ合言葉アルヤ

答

然リ石ト呼ヘハ金ト答フルノ合言葉ヨリ外ナシ

問

新台村本部ニ刀劔ヲ備ヘ置キシカ

答

刀劔ハ山口千代作宇田成一ノ刀仕込ノ状其他

問

数多備ヘ置キタルヲ確ト見認メタリ

刀劔類ヲ本部ニ備ヘ置シ上ハ出訴事件ノ勝敗
ニ依リテハ何レ事ヲ起スノ目的アリタルニハ相違
アルマシ

答

刀劔ヲ本部ニ備ヘ置シ以上ハ御尋問ノ如クニシテ
一言ノ申開リヘク様ハ之レナシ併シナカク自今ニ
於テ敢テ刀劔類ヲ買求シ又ハ運搬シタム等ノ事
ハ之レナシ

問

汝カ暴キニ陳白セシ如ク去月廿八日暴民共喜多方
警察署ニ侵入セシ夜途中ニ於テ井上荒尾外五六
名ニ出会セシ中各自刀劔ヲ携帯セシト自白セリ
然ラハ何ノ目的ニ出テ携帯シタルモノナルヤ

答

想像スルニ刀劔ヲ携帯スルハ事アル日ニ用立積テ

多
少
無
ノ
カ
ラ
ハ
お
進
ス

先
考
シ
様
お

ルヘシ

問 汝力是マテ陳述スル處ヲ以テ見レハ單ニ会津地方
道路開鑿事件ニ止マラサル様ニ思ハル如何

答 自分ハ元来自由党員ノ一人ナリ従ヒ集會條例改
正後ハ故メヲ加入セサレ氏党員ハ脱セサルナリ故ニ我々ハ
主義則チ革命スルノ目的ヲ達スルハ今日ハ急務
ナルヲ以テ先ツ権理ヲ恢復シ幸福ヲ全フスルニアリ故
ニ獨リ道路開鑿事件ニ止マラス此ノ様ニ乘リ進テ
前陳ノ目的ヲ立テ政治ノ改良ヲ謀リ飽マテモ我々
ノ目途ヲ達セントスルノ精神ニ乏レアリ故ニ福島無
名第及ヒ高知縣其他ヨリ当地方ニ派出シタル者ハ
渾ラ同目的ノモノナルヲ以テ常ニ其目途ヲ貫ク
カントヲ共謀セリ則チ同盟委員タル内規則第一

條ニ大畧ノ意示レタリ

問 汝之レ迄罪ヲ犯シ処刑ヲ受ケシコアリヤ

答 曾テナシ

右被告人凡生直七、讀聞セタル其陳述ノ毫モ
相違ナキ旨申立テ署名捺印

被告人 凡生直七 押印

今般兇徒聚集之事件追々取調ニ着手スルニ何レモ
強状ニシテ招養セス然レ氏内規盟約書共ニ共犯人
荒尾角藏之日記等ニ據レハ到底國事犯ニ関涉致
不容易儀ト思料致候同別紙相副此段上申候也

福島縣警部長心得

明治十五年十二月五日

警部外田重之

福島縣令三層通庸殿代理

福島縣少書記官村上楠朝殿

特別内規則

第一條 吾カ同盟者ノ所謂權利ヲ恢復シ幸福ヲ全フ
スルト云所謂ノ者ハ單リ道路開鑿ノ一點ニ止マラ
ス即チ政事ノ改良ヲ望ムモノナレハ尋常ノ行為ヲ
以テ此目的ヲ達スル能ハサルモノナレハ百折不撓
ノ精神ヲ以テ茲ニ誓フハ敢テ論ヲ要セサルナリ故
ニ特別ニ委員若干名ヲ置キ非常ノ難事ニ當ラシム
第二條 第一條ノ委員ノ撰挙ハ公撰ヲ用ヒス同盟中
ノ志願者ヲ以テ之レニ充ツ

第三條 前條ノ委員ハ特ニ誓約ヲ為サシム

第四條 特別委員中ヨリ委員長一名ヲ拔押シ總理セ
シム

第五條 特別委員ハ左ノ區域ヨリ撰出ス

耶麻郡40河治郡20北會津郡10南會津郡10東蒲原郡10

誓約書

- 一議權ノ視奪ヲ回復スル件左ノ如シ
- 一項決議ニ反シタル施行ノ事
- 二項路線ヲ擅定スル事
- 一議權回復ノ上ハ左ノ目的ヲ以テ會津地方道路開鑿ノ事業ヲ起スヲ要ス
- 一項民事ヲ計リ起業スル事
- 二項地方人氏ノ公益ヲ計リ路線ヲ直定スル事
- 三項土事監督委員設置ノ事
- 四項路線接続ノ隣縣人氏ニ於テ同等起業ノ締約

ヲ要スル事

五項 前条各項ノ目的ヲ達セサルハコノ事業ヲ起サス

上仙委員暗号

- 一訴訟鑑 一 法庭仙台平 一 受理取引相談
- 一委員麻 一 縣廳旅商人 一 証據物受取証
- 一金手形

地方暗号

- 一同盟勢力米 一 反對党景況 一 金融 一 地方
- 一裁判金物

縣令	〔折返〕	属官	〔下ヶ系〕	郡長	〔フシ系〕	郡書記	〔口系〕
戸長	〔木綿〕	警部	〔キヒソ〕	巡查	〔テカデマユ〕	新募集	

九州改進黨	櫻	危急	休ム	降ル	上気味
立憲政黨	梓	主義	幹	集合	瞻貴
帝政黨	桎	会談	這	突ク	咄ル
改進黨	桷	秘密	旭	養生	轉フ
自由黨	梅檀	演説	露	流ル	集ル
農務省	芍薬	死スル	送ル	焼ク	湿ス
海軍	直段	殺ス	擦ル	崩ス	交セル

東山道	板垣	後藤	島本	福畠	三條	岩倉	有極川	東伏見	北皆河	井上	山田	山縣
砂	鳳凰	九菰	鷺	蛇島	白鷺	鳥	鶴	雉子	山鳥	鳶	鷄	鷺
	伊藤	黒田	川村	西御	大山	天子	丸山	福地	水野	佐木	福畠	比畠
	雁	舊島	荻	鳩	鴨	キリ	鴨	七重	噲舊島	イナリ	目鳥	鵠
	東海道	岐阜	西京	大坂	東京	外國		太田	五代	島地	山田	谷
	砂	湍	川	山	野	原		見	嶋	鵠	鵠	鵠
	東山道	北陸道	関八州	奥州	畿内	中國	四國	九州	薩广	熊本	高知	福岡
	泥	溝	海	甲	谷	岡	灘	岩	嶼	所	泉	地峽

荒尾角造所持之

決ス	濟	党員	狼	アノイネウヌエニオナ
一件	相談	総理	衆	カソキセクスケシコサ
除ク	甘ク	縣令	取	サホシヘスフセヒソハ
早ク	緩ク	冬事後官	猫	タオチエツウテイトア
去ル	因ル	元老後官	犬	ナモニメヌムネミノマ
来ル	戻ル	冬後	佛	ハコヒケフクヘキホカ
縛ル	籠ル	大臣	熊	マロミレムルメリモラ
捕ル	上ル		ヤ	ワ ヌヤ ヨユ
出ス	衝ク	刀	槌	ラトリテルツレチロタ
入ス	引ク	銃砲	斜	ワヨ
善キ	赤キ	刺客	蜂	幹事猿
悪キ	黒キ	暗殺	蟻	社員龍
			社長	新

内務省	牡丹	虚無党	芥子	汽脈	直段	蹈ム	矢フ
大藏省	山吹	陸軍	百合	彈藥	気色	降ル	上気味
地方部	梅	海軍	千昆	用心	年当持	登ル	不景気
共済社	朝顔	社会党	葡萄	危急	休ム	集合	騰貴
本部	竹	平民党	榎	病気	椅子	養生	轉フ
立志社	松	九州改進黨	櫻	主義	幹	突ッ	嘔フ
警察署	薔花	立憲改進黨	梓	秘密	相	流ル	焦ル
裁判所	椿	帝政党	桤	会議	這	焼ク	湿ル
矢事院	茅	改進黨	柳	演説	露	崩ス	突ル
元老院	木	自由党	榊	死スル	送ル	河	庭
内閣	草		殺ス	擦ル	陸	藏	
司法	花	農商務省	若呆	共和政	党	雪	海

山縣	鷺島	片田	鷓ノ一	東海道	砂	福岡	地峽
山田	鷄	福田	冒島	岐阜	渾	高知	泉
井上	鷲	佐々木	イナヅミ	西京	川	熊本	岸
北白川	山鳥	水野	喰糞鳥	大坂	山	薩广	嶼
東伏見	雉子	福地	七面鳥	東京	金	九州	岩
有栖川	鶴	丸山	鴨	外國	京	四國	瀧
岩倉	鳥	天子	麒麟			中國	虫
三浦	白鷺	大山	鴨	太田	鳧	畿内	谷
副島	蛇島	西郷	鳩	五代	鴻	奥州	岬
島本	鷺	川村	雀	島地	鷗	関八州	海
後藤	孔雀	里田	鷺鷥	山田	鷗	三北陸道	溝
板垣	鳳凰	伊藤	雁	谷	鷗	三東山道	泥

第五号

一會津地方人民ノ暴壓威迫ノ慘苦ニ沈淪シ彼ノ官吏
帝政党ノ益專恣ヲ逞フスルノ状況ハ前二回ノ報ト
他ノ傳說ニ就テ概了セラレシナルヘシ却說前回モ
報セシ如ク東京寧靜館ヨリ高知ノ人荒尾某外三名
ノ壯士ヲ派遣サレ田母野佐藤其他ノ數氏ト共ニ出
発セリ續テ群馬縣ノ有志者ヨリ当地多事ノ趣ヲ傳
承シ唇齒ノ感然止シ難シトテ伊賀我何人外四名ノ
壯士ヲ送ラレ已ニ本日ヲ以テ會津ニ向ケ出發セリ
聞ク該縣ノ有志者ニハ非常ノ奮發ニテ当地ノ狀態
ヲ傳兼スルヤ十六七歳ノ壯士爭テ起テ父母等ノ許
シナキモノハ一書ヲ遺シテ脱出シ十人ノ壯士也テ
寧靜館ニ來テ派出ヲ乞ヒシカ先ツ五人ヲ先驅シ他

民ノ暴壓威迫ノ慘苦ニ沈淪シ彼ノ官吏
專恣ヲ逞フスルノ狀況ノ前二回ノ報ト
得説ニ就テ概了セラレシナルヘシ却説前回モ
如ク東京寧靜館ヨリ高知ノ人荒尾某外三名
エヲ派遣サレ田母野佐藤其他ノ數氏ト共ニ出
續テ群島縣ノ有志者ヨリ当地多事ノ趣ヲ傳
齒ノ感歎止シ難シトテ伊賀我何人外四名ノ
送ラレ已ニ本日ヲ以テ會津ニ向ケ出發セリ
縣ノ有志者ニハ非常ノ奮發ニテ当地ノ狀態
スルヤ十六七歳ノ壯士爭テ起テ父母等ノ許
モノハ一書ヲ遺シテ脱出シ十人ノ壯士也ア
ニ來テ派出ラレヒシカ先ツ五人ヲ先驅シ他

路 館

東京寧靜館ヨリ
高知外三名

ハ模様ニヨリ派出然ルヘシトテ抽籤ヲ以テ五人ノ
壯士ヲ送ラレタリ尚キ事ニ依テハ三四十名ハ派出
スヘシト用意アル趣ナリ嗚呼諸君ヨ會津人民ハ昔
縣内ノ同胞兄弟ナリ會津人民ノ利害得失ハ昔縣内
同胞兄弟ノ直接スル關係アリ此舉ハ彼ノ觀光ノ時
期ヲ造出スル機ナリ他縣人ニシテ如此シ豈吾縣下
有志者ノ此間ニ在テ袖手傍觀スヘキノ時ナランヤ
諸君以テ如何トナス馬

十五年十一月廿五日

無名館

若松党員佐藤清只今歸館セリ就テ該地之模様ハ別紙
書翰ヲ報告ニ換ヘ似多忙ナリナ間左様御承知アルベク
且ツ該書外ニ漏レシ一二件ヲ撮記スルニ耶麻郡地方
ニテハ○ツレク官ニ口辨シ又タ口辨ノ色アル者ハ直
チニ之ヲ訊問シ拘引レ或壓至ラサルナク○又タ電信
郵便ノ如キハ尋常ノモノヲ除ク外通セス○縣令代理
トシテ出張セシ海老名一等属ノ如キハ巡行ノ際ハ二
三十人ノ巡查ヲ以テ警ス○巡查ハ帝政黨員ヲ如メヨ
雇棟キ株ノ人物ヲ揚ケ凡ソ四百人ニ募集セリ○威壓
ニ伴ル費用ハ一ヶ月凡ソ幾万円ヲ要スベシト而シテ此
費ヲ償フニハ人民ノ暴舉ヲ促シテ事ヲナサシメ之ヲ
領スルノ費用ナリト口實スルノ見込ナリト

平常トモ
或公トテ

帝政党保費費アレハ勿論ナレハ此彼等ノ奸計此ノ一
度ハ松別ノ費ヲ要セシ故ナリト云フ
案ヲ以テ一ニハ道路開鑿ノコトヲ成レニニハ自由党ヲ
撲滅セントス思ム可レハタ

右ノ形況ニ付テハ吾党ハ飽マテ該地人民ノ結合ヲ鞏
固ナラシメ激レテ答セス忍ンデ倦マサルノ計ヲナス
ニ在リ依テ河野氏ニ電信モテ依頼セシ吾福島ヨリモ
答スレ処ノ士ト協同以テ此計ヲ成ヤントス
一別紙裁定書ハ河野氏ニ御渡ノ上新聞掲載ヲ望ム
十五年十一月八日

無名館

軍部館

御中

會津地方道路開鑿ニ係リ非常ノ暴壓ヲ加ヘシヨリ人
心激動序旗ヲモ翻ヘスノ勢ニ差迫リ決死ノ壮丁九千
余人動モスレハ暴壓セントス迄生カ該地不穩ノ報ヲ
聞クヤ太月廿三日ノ夜ヲ以テ鎌田ヲ伴ヒ馳セ向ヘタ
ルニ若松地方出ロタマヲ警衛シ容易ニ入込ムヲ能ハ
スト聞キ戸ノ口峠ヲ越ヘ翌夜十二時ヲ以テ速藤直喜
許ハ達セリ然レニ直喜ハ反對ニ立テ道路賛成ノ一人
ニテ(三浦信大速藤)徹夜激論遂ニ彼輩ヲ屈服セシト云
凡背面相反スルノ凡色アレハ門名ヲ伴ヒ宇田ノ家ニ
来レ此際人民尚ホ沸騰スルニ至ラス故ヲ以テ將來ノ
方畧ヲ授ク翌日一郡親睦會ヲ開キ之ヲ土産ニ帰福セ
ントセシニ其曉天五拾余人ノ狗盜(突ハ帝)竹具足ニ身

ヲ固メ我党親睦會席ヲ蹂躪セントスルノ結構アルヲ
急報スル者アリ為メニ此會ヲ廢ス同夜縣令代理海老
名ナレ者人民訖論ヲ声言シ警官數拾名ヲ率ヒ新合村
ニ侵入シ実ハ暴壓ヲ以テ人民ヲ威服セントスルニア
リ依テ我輩門名ト號代ノ任ヲ帶ヒ痛論攻撃大ニ彼カ
銳鋒ヲ挫ク此夜十二時狗盜及郡長隣村ニケ村ニ強迫
スルノ報ナリ門名羽島錦田之ニ當リ我輩ハ新合村ヲ
擔任ス然ルニ錦田ハ大政官第二十二号公布解任ノ
ヨリ郡吏ト抗辯セシ故ヲ以テ直ニ縛セラレ若松ニ引
致セラレ^(臨時)我輩翌朝説諭拒絶ノ書ヲ携ヒ縣令代理
ニ接ス彼レ曰ク委任狀ニハ二名ニ依托ストアリ一名
ヲ以テスルハ官ヲ欺キ信ヲ人民ニ失スルナリト我輩
云ク然ラス全ク委任ヲ受ケタルノ一人ナリ散テ官ヲ

欺クモノニ非ス之ヲ欺クト云フ抑モ何ノ理由アルト
抗辯百出彼レ詰塞ル於是乎中談スル事アリ巡查同行
喜多方郡役所へ出テヨト令一旦拒絶セ^ト並ニ^暴勢
暴^シル不服ノ席ハ出訴セヨト云フヲ以テ強テ余ヲ拘
セントス故ニ之ニ應セ^シ其夜狗盜令ヲ打タントシテ
云フ福島ノレヤグマ^(モ)追カニ人ノ國ニ來テ敢テ
縣治ヲ妨害セントス許スヘカラザルナリト依テ豫メ
戒心シ九時ニ重シタル頃旅亭ヲ避ケテ五十嵐武彦ノ
家ニ投ス依テ難ナ^ルヲ得タリ翌朝郡衙へ出頭
膽ヲ放テ辯論ス彼又罪ノ羅織スヘキナク遂ニ歸村ヲ
肯セリ爾來百方計画スル知アリ然ルニ今回内務卿縣
下ヲ過キルニ付キ陳情書^(別紙)ニ^{アリ}差出シ尚市縣令ニ
向テ工費中止ヲ求ムル為メ五十嵐中島ト同伴一旦帰

福山キ同士ヲ糾合シ馳向フノ手筈ナリ而シテ各処ハ
事務処ヲ設ケルニ付人物ヲ要スル故東京ヘ壯士拾名
ヲ貸ランヲ要求セリ必竟今回ノ事変ハ吾党ノ為メ
勝敗共大映響有之儀ニ付一臂ノ力ヲ添ヘサル可ラス
新聞株金モ事果ツルノ後二千金負擔ノヲニ約セリ又
會津福島ヲ一團スレヲニ約ス且ツ全面ノ總理ナル者
ハ耶麻郡新合村赤城平大タリ甬來通信ハ之ニ向テ往
復スレヲトセリ滿腔筆紙ニ尽シ難レ拜諾万健再拜

十五年十一月 日

追テ縣令ハ日夜巡查ヲ以テ其邸宅ヲ警衛セシム山
ト川トノ暗号ヲ以テ他人ノ捕入ヲ誰何レ其暗号ニ
應セサル者ハ直ニ打撃スト

帝政党中屋敷ノ壯士ヲレテ反問ヲ放ナ暗ニ一機ヲ
煽動セシム

若松ニテ臨時召集巡查四百名余其他郡吏帝政党ノ
如キハ大概兵器ヲ携ヘテ横行セリ
人民ヲ郡衙ニ召喚スルニ巡查ヲ以テ引致シ出入共
之ヲ監ス

増勢動向

党中屈竟ノ壮士ヲシテ反問ヲ放テ暗ニ一機ヲ
 セシム
 ニテ臨時召集巡査四百名余其他、郡吏、市政党、
 ハ大概兵器ヲ携ヘテ横行セリ
 郡衙ニ召喚スルニ巡査ヲ以テテ致シ出入共
 止ス

加那動聞
 是放テ一機ヲ
 郡吏ノ被テ多量ヲ

差掛一翰ヲ呈似然ハ此迄御談判致タル事件モ宇田カ
 拘引サレタルヲ以テ水泡ニ属シタルヲニテ實ニ憤怒
 不堪事ニ御坐似此元ニ於テ村松氏ニ種々協議似処陷
 時會開設ノミニテハ工事件中止スルノ權モ與之由テ
 ハ大郡聯合會ノ越權不合添テ基礎トシ其他御美知ノ
 件々ヲ以テ一ハ初審裁判所ニ訴ヘ一ハ控訴院へ縣令

ヲ被告トリ出訴スル手續相運ヒ已ニ訴状モ取調裁リ
中ニ御坐似間出来次第取掛ル心得ニ御坐似然ルニ是
迄委任狀ハ宇田カ拘留ニ付無効ニ属シタルニ付別ニ
委任狀ヲ取ル都合ニ致度由テ態々人ヲ差起可申ト存
候得共差タル人モナク昔に罷在似処折檻ノ群馬路ノ
有志小勝氏当来遊ノ節ニ付此事ヲ委託仕若松地方ニ
出張依頼致似間御見込モ可有之ト存似間此事件ニ付
御良策モ有之似ハ、御報被下度最モ是迄若松ノ都合
御承知ノ願々ハ御通知被下度ナ子モ福島迄罷遊御賢
慮等相伺可申心得似共多分訴状取調中ニ付相離兼申
似間近々拜顔ノ上万々御新可仕似奴々委細ハ小勝氏
ヨリ御聞取被下度又々頓首

十一月三十日

山口拜

河野兄

閣下

正ト共ニ当地方部ハ自然消滅ノ旨口上書ニテ差出
セリ

一当部々署ヲ無名館ト稱シ掲示改シ居リシカ地方部
解散ニ付テモ館名ハ依旧存シ置似間福島町元大軒
町無名館トハ吾党ノ寓ト御心得アルベシ
一又夕區制ノ部費モ御出會ノ折御持参ノリ

無名館ニテ

早島松尾宛

東京銀座三丁目廿番地

自由党幹事

再度三郎宛報ニテ貴地暴壓無狀ノ有様
逐一ニ詳細悲憤ニ不堪矣就テ、御
依頼ニ任ヒ不取敢都合在来、壮士荒
尾某以下三名孤遺、御協力奏様申合
置矣、同着福、上、諸事、御打合可然
矣、猶從跡追々豪壯、俊曹統口出
立、為教矣、同益々、御作、與、御、尽力可
然書言不尽不一

十月十四日

自由党幹事

東京自由党
書記

平島松尾君
佐藤 清君
門 常茂水部君

水戸不同

再仰所野君所熟知之通り本部會計
二 向 奉 了 了 着 福 美 連、 様 貴 調 達
定 立 致 矣 事 故 参 着、 上、 萬 事 宜
敷 所 接 待 奉 希 望 矣 勿 畧
人 名 左、 如 之

荒尾 寛 造
川口 清 忠
小川 又 雄
岡 本 正 栄

一人

去十月廿三日即摩河沼ノ内即道路費徵集ノ件
ニ苦情ヲ唱ヒ自由黨員若干名是レカ主唱ナリ
各利誘道人心不穩ノ是也即衛警官等ヨリ申
付出張ノ上町場ノ説諭ヲ加ヒ可成鎮静致シ命
ヲ蒙リ即刻出張致部長ト協議ヲ遂ケ夫レ説諭
ニ着手ス處容易ニ承服ノ是況無三隅自明然
ニ於テ服従スルモ巨魁者宇田成一著百方教
諭タル為忽ク変心シテ往々不教驕慢ノ凡アリテ
或ハ不平ヲ尤畧ニ訴フル故モ難ク以テ旧會津
藩士族ヨリ巡查一百二十名ヲ徵募シ二郡ノ要所
ニ配置シテ非常ヲ警シ而百方説諭ニ從事
スルモ更ニ是効モ無三隅追々聞處ニ在レハ他
郡他郡ヨリ自由黨員ト覺教者欲ク是レ教タ

此月廿三日即摩河沼ノ内即道路壹徵集ノ件
 自由黨員若干名是レカ主唱ナリ
 人心不穩ノ是レ即衛警官等ヨリ申
 言生張ノ上町場ノ説諭ヲ加ヒ可成鎮可致ノ命
 ヲ蒙リ即刻出張致部長ト協議ヲ遂グ夫レ説諭
 ニ着手ス處容易ニ承服ノ是レ況無ニ偶自
 ニ於テノ服従スルモ巨魁者宇田成一著百方教
 諭之ヲ忽ケ変心シテ往々不教驕慢ノ凡
 或ハ不平ヲ尤露ニ訴フル故モ難キヲ以テ旧會津
 藩士族ヨリ巡查一百二十名ヲ徵募シ二郡ノ要所
 ニ配置シテ非常ヲ警シ而百方説諭ニ從事
 スルモ更ニ其劫モ無ニ中進々聞處ニ依レハ他
 郡他郷ヨリ自由黨員ト覺教者被リ變シ教多

宇田成一ノ死ハ
 送致ス
 教唆ス

入トテ説モアリ益人氣モ荒立矣模様ニ付
巨魁宇田成一等ノ地罪ノ席アルヲ以テ三社名
ヲ拘引美處去月二十七日ノ探偵ニテ取摩部新合
村市城平六ト申者今般ノ依理トナリ自宅ヲ本部
ト定メ多人數潜伏シ居リ不日大舉シテ探偵
部街ヲ襲ヒ具勢カラ以テ政府ヲ騷擾セシ
ト謀リ居ル旨ヲ得タリ依テ二十七日早更ニ
石平六ヲ拘引スルヲ各トシテ一挙彼ノ黨員
ヲ捕縛スルヲ以テ協談ヲ遂ケ切カニ具準備ヲナ
ス中尚又廿八日ハ各和日リ多人數ヲ繰出シ取摩部
役所ト喜多方警察署ニ迫リ巨魁者ヲ拘引スル
理由ヲ問ヒ合ヒテ放免ヲ乞フ若シ諾之ヲ聞カスハ
丸幕可致ノ諾スセル旨ヲ得タルヲ以テ注意罷在取處

果テ又八日昼間ニ至リ四方ヨリ入込人數凡三四十
人喜多方所ニ集ルヲ以テ警察吏ニテ諭スニ往來
ヲ妨ケ且ツ故ナリ群集シテ人必ツ騷動スルヲ以テ
退散ヲ命スルニ異儀ナリ三方ニ散シ彈正魚ト云フニ
集合シテ自由黨員ハ五五ト云フ者何事半衆ニ
教示シテ萬壽國度喜多方所ニ至リ警察街ニ迫リ
宇田等ヲ拘引スル理由ヲ問併セテ放免ヲ乞フテ
不止暫リ説諭ニ時間ヲ移ス中彼等ノ内何者ヲ
畏ヤノ約束ヲ不忠ヤト喝ヒテ手ヲ拍ツト衆人モ之ヲ
和シテ手拍ツト否波聲ヲ發シ警察吏ヲ殺セセケト
云テ署内ニ溜込ニ在リ擲ケテテテテテテテテテテ
リルナキヲ以テ巡查技カニテテテテテテテテテテ
過テ傷ケラル者アリ之ヲ見ルハ均シリ總群ノ將

ニ逃ケ散リ在任左任恰モ殊ノ子ヲ散エ如ク市中一人
ノ秋跡ナキニ至ルエラ追跡スルニ新合村ニ行クモ
多ク或ハ四方山々ニ集リカ、リヲ焚キ恰モ戦地ノ如ク
ナハニ等ヲ追散ラサント微勢巡查等類リ、許可ヲ
乞フモ明朝ノ大早ヲ妨ケンヲ得レテ強テ巡查ノ乞
ヲ止ム只巡邏ヲ嚴ニシテ時刻ノ至ルヲ待ツ
廿九日朝四時ニ巡查四五十名ヲ引連レ相印シテ
付レ密カニ彼等ノ本部嘉城平六冠ヲ囲ミ逃走
ヲ防ギ巡查三名ヲ家屋ニ入レ平六ヲ尋ユル旨申
聞ケタルニ家屋中殊ノ外温雜糧糧致矣此其内
重立タル者四於余名和致ノ上若松警署署者ハ
差送り及後鎮撫方郡長警官等ト協議ヲ
尽シ夫々手配致矣ニ付テハ人心進々安堵ニ

帰レ申矣此段概畧傳命致矣也

明治三十二年八月

一著属海老名孝子同

福島縣令三島通庸殿

福島縣福島町南裏通自由党無名館隣
室ニ思入聞取陳述左ノ如シ

一明治十五年十月四日夜自由黨員無名館ニ於テ

凡ソイ余名集合シテ果一人起立シテ当縣令

ヲ指テ曰ク假令ハ当地ニテ葱水アリ且葱不根幹ニ

大ナル為ニ其惡水ヨリ壓ヒテ下陰ヲ受ケモ此水ハ

繁茂ゼカルナリト一般ニシテ反悪ホラ代リ倒サス

到處是山水、生長之ルヲ難シ云々（葉ニルニ喜有、暗被
ルヲト云ス）

一、全年十月十三日夜無名館於五、六各集合。

曰り当縣令三島通庸始々属官警部に到ル迄

馬鹿者ノ寄り集リタル所ナリ云々

一、全年十月十四日夜自由黨員某者無名鑑

来リ党员ニ談スルニ當時天下ノ景勢、脱力ニア
ラサレハ萬事成就スルヲ能ハス、某党员答テ
曰リ脱力ニ許フルハ童兒ノカス処ニシテ大人ノカス処
ニシテト陳ヘシ、処一人ノ党员依然奮激シテ曰ク一
度約シテ違背スルハ如何ノ精神ナルカト、論弁甚タ
過激ニ涉リ遂ニ擡合ヲセタリ、（衆人ノ内ニ暗殺ニテモ
マス、約ナシトモス）
一東京神田今井町一帯地佐藤義忠ナル者、南部地
方、嶺山ニ関スルヲヨリ官ヲ被告ニ取リ大勝利ヲ
得タルヨリ有名ナルガ方、今我自由党ニ頌ルカ、
己ニ自由新聞株金等ニ周旋ラシ夥多生金セシ由モ
一無名黨ニ某日凡ソ四五名集合シテ談スルニ方
今政府ノ壓制非常ナルニ依リテ之ヲ破壊スル
我党ノ職任ナリ云々

一凡日無名黨ニ於テ演スルニ壓制ニ島縣令ハ方
今警告ヲ頒リニ増加ナルハ我党ノ盛大ナルヲ妨害
スル目途ナリ、真ニ壓制縣令ト談シテ甚シク罵詈
嘲罵スルヲ言詔ニ及シ難シ、最モ此夜ハ殆ント
党员ニ十余名程集リ居リ

一今年十月十日夜無名黨ニ党员七八名集リテ當
政有リ強國シテ以テ板垣ヲ大統領ニサントスル云々
一河野廣中、佐京、及帰郷レテ無名黨党员ニ談
スルニ這田、生田、數々、後藤、象次郎ニ面會シタレハ、當
時天下ニ事ヲ決ニシ以テ壓政政府ヲ改正セント欲スル者
ハ、獨リ後藤氏アル而已、一々政体止緩々後藤子ト談
スルニ後藤子涙ヲ拭ヒ慷慨悲憤方、今天下ノ政勢ヲ
歎タルヲ見シ中、尤モ今般板垣子降行スルハ深キ所以

ルハ、南北、及び、後、藤、子、供、ニ、事、ヲ、謀、ル、ト、云、々、又、更、事、
アル、節、ハ、互、ニ、電、報、ヲ、通、知、ス、ル、事、ニ、定、メ、置、キ、リ、云、々
一、全、年、有、リ、日、夜、無、名、館、ニ、自、由、党、員、山、口、千、代、作、岡、田、
健、良、其、他、十、名、計、リ、集、リ、演、ス、ル、ニ、今、回、若、松、地、方、
道、路、工、作、ノ、事、ハ、人、民、一、般、不、服、ヲ、唱、ヒ、毫、モ、肯、ヒ、サ、
ル、氣、色、ナ、レ、バ、無、理、無、指、ニ、愚、民、ヲ、壓、制、シ、テ、是、金、ヲ、
取、リ、立、ル、リ、是、タ、慘、酷、ナ、リ、人、民、少、シ、ク、通、理、ヲ、以、テ、漢、
佛、官、吏、ニ、陳、ス、レ、ハ、威、力、ハ、切、論、甚、敷、ニ、到、リ、テ、ハ、腕、力、デ、
モ、施、シ、テ、取、立、ル、愚、野、ヲ、ラ、シ、レ、即、チ、三、島、壓、制、令、ハ、
手、段、ナ、リ、突、ニ、是、シ、ト、云、フ、ヘ、シ、云、々

一、某、日、河、野、廣、中、副、室、ニ、二、三、ノ、党、員、ヲ、招、ヒ、テ、曰、ク、当、
縣、ノ、我、党、ハ、突、ニ、振、起、セ、サ、ル、モ、ナ、リ、東、京、ノ、壯、士、軍、ノ、如、
キ、ハ、突、ニ、盛、ナ、ル、モ、ナ、リ、諸、君、等、曷、リ、振、ハ、サ、ル、ヤ、然、ル、ニ、二、

三、ノ、党、ハ、唯、々、然、々、ヒ、リ、河、野、曰、リ、東、京、ノ、壯、士、已、ニ、事、ヲ、
為、サ、シ、ト、進、ミ、タ、レ、巴、金、之、レ、ヲ、慰、メ、テ、曰、リ、来、テ、大、年、一、月、ヲ、俟、ミ、シ、
一、某、日、無、名、館、ニ、於、テ、自、由、党、ハ、九、名、集、リ、テ、曰、ク、我、国、
日、今、危、岌、ナ、ル、丁、名、状、ス、ヘ、カ、ラ、ス、兵、士、ア、リ、テ、社、會、ノ、利、
益、ヲ、屠、ル、丁、能、ハ、ス、警、官、ハ、無、用、ノ、者、ナ、リ、日、本、國、民、ハ、頑、
愚、ナ、リ、當、時、警、官、ハ、レ、巴、識、者、ヨ、リ、之、レ、ヲ、觀、ル、中、ハ、
忽、チ、廢、止、ス、ヘ、キ、モ、ナ、リ、何、ン、ト、ナ、レ、ハ、警、官、ハ、愚、人、民、ヲ、
保、護、ス、ル、モ、ナ、レ、バ、ナ、リ、云、々

一、若、松、市、政、党、ノ、盛、大、ミ、シ、テ、頗、ル、粗、暴、ナル、ヨ、リ、東、京、ヨ、リ、
壯、士、軍、ヲ、下、シ、之、レ、ヲ、壓、伏、セ、ン、ト、ノ、丁、ナ、リ、最、モ、彼、士、軍、ハ、生、
活、ニ、汲、々、ト、ス、ル、モ、ナ、レ、ハ、唯、壓、制、粉、砕、令、ノ、命、之、從、フ、モ、ノ、
ニ、シ、テ、恰、モ、牛、馬、ト、一、般、ナ、レ、ハ、ナ、リ、依、テ、東、京、ヨ、リ、壯、士、
ヲ、下、サ、ハ、忽、チ、瓦、解、雲、散、ス、ル、丁、必、然、云、々

一河野廣中某日黨員、兩夜往語テ曰ク此度
順ル必價ヲ元込ノ鏡ヲ東亞表ニ於テ購
求セル様ニ致置キ云々

一自由党平島松尾山口子代作見他四五名打集リ
語テ曰ク今般若松地方道路事件ニ付當務ヨリ
書記官始メ属官等數名派せり之レ天下喜亂
ノ前兆ナリ是北事跡各縣ニテ追及ホサレトス
政府ハ立ッベカラサル必然ナリ云々

一縣令、無祿士族數十名ヲ以テ道路掛トナシ人民
ヲ壓セトス故ニ人民帰服セサルハ勿論甚タ不
平ヲ鳴ラシ總テラサルニ依リテ此機會ニ我
由受ノ殊ニ必要トスル時ナリ云々

一岩倉石府、民權ノ事ニ付テハ前後始終我党

ニ妨害ヲ加ヒ居レリ云々

一三島縣令自完前夜、無夜怪數件ノモノアレハ
直チニ打擲スルハ如何ト一人、黨員陳ヘシ應談夜ニ
ハ名モ集リ居リシカ異口同音一曰賛成ヲ表シタリ云々
一警察署見張ノ巡查、毎夜々更ケニナルト睡眠リ
ナシ居レハ石ヲ投スヘシ云々七八名ニテ談シ居レリ云々
一明治十五年十二月二十日ヨリ戦ニ河野廣中行衛知レ
サルニ付四方ニ探偵ヲ尽シ居リ矣此處今年三月
一日夜無名館ニ帰館セシヲ探知セリ依テ該夜相
引セラレタリ云々

石ニ通リ相違無之最モ石陳述ニ總テ夜更ノ
演説ニ矣也

明治五年三月八日 国事探偵龍造寺豊太郎

福島縣令三島通庸殿

宇田威手稿

全